

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	教育相談事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	908,023	報償金	840,000
	国補助		通信運搬費(費用)	68,023
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	908,023			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	いじめや不登校等の学校に関することや子育ての悩み等についての相談を受け、子どもが健やかに育つようアドバイスを行う	各小学校への出張教育相談をはじめとして、教育相談事業の充実を図る
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
通常相談 ・相談場所 大東市立キッズプラザ 2階 ・相談日時 平日の日中 4時間(週3回) ・相談方法 来室、電話、メール 出張相談 ・大東市内各小学校にて	通常相談 年間を通して、左記の要領での相談業務 出張相談 参観日などに大東市内各小学校での相談業務	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
		独自	
	人権行政の視点	学校以外にも相談機関が日常的に開設されることは、子どもの学ぶ権利を守るためにも重要である	長期欠席に関する相談を多く受け付け、学校と家庭を繋ぐ役割を果たした

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 ・文化的・先進的な街づくりへの貢献 ・市のセーフティネットとしての役割 結果 安心な教育環境の推進	より丁寧な相談支援体制の構築 相談者の個別の課題に寄り添いながら、解決に向かったり、継続して経過を見守ったりすることができた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	英語教育推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	701,540	報償金	2,500
国補助		消耗品費	384,922	
府補助		使用料及び賃借料	22,800	
市債		教材購入費	302,400	
その他	656,882	その他負担金	645,800	
合計	1,358,422			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
		社会のグローバル化に対応し、H32年度から実施される小学校英語の教科化に向け、小学校における英語教育の充実を図り、中学校での英語力を強化する
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「DREAM」を市内4小学校で実施(H29)</li> <li>・英検3級受験者への補助(H29～)</li> <li>・公立幼稚園における英語体験(H29～)</li> <li>・「DREAM」を市内8小学校で実施(H30)</li> <li>・「DREAM」を市内全小学校で実施(H31)</li> <li>・小学校英語教科化(H32)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「DREAM」活用研修(6月・11月)</li> <li>・「DREAM」モデル4校で実施</li> <li>・英語教育推進研修(年間5回)</li> <li>・Daito English Trial(大東市版英検)実施 (5月～10月)</li> <li>・「Can-Doリスト」に基づいた授業の改善</li> </ul>

指標	内容	目標	H29実績	
		総計 H32		
	中学3年時の英検3級の取得者率	KPI H32	20%	21.8%
	「DREAM」活用校における児童の英語に対する肯定的回答の割合	独自 H29	70%	86.8%
	人権行政の視点	子どもたちの国際理解教育を深める機会の拡充と、コミュニケーション能力の向上	子どもたちの国際理解教育を深める機会になり、コミュニケーション能力の拡充にもつながっている	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の機会の拡充</li> <li>・英語教育の内容の充実</li> </ul> <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の機会が拡充した</li> <li>・英語教育の内容が充実した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の英語でのコミュニケーション力を育成する</li> <li>・中学校での英検取得率を向上させる</li> <li>・児童・生徒のコミュニケーション力育成につながっている</li> <li>・中学校での英検取得率が向上した</li> </ul>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	不登校対策事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	9,084,392	報償金	8,348,600
	国補助		消耗品費	38,199
	府補助		通信運搬費(費用)	181,197
	市債		手数料(費用)	216
	その他		その他保険料	61,100
	合計	9,084,392	事務業務委託料	455,080

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	大東市立小・中学校における長欠・不登校児童生徒への支援、また未然防止の対応を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校指導員の学校派遣</li> <li>・大東市適応指導教室「ボイス」の運営</li> </ul>
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
長欠・不登校児童生徒数の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室「ボイス」の運営(週4日)</li> <li>情報交流会や訪問指導等も実施</li> <li>・学校への不登校指導員の派遣</li> <li>不登校指導員交流会の実施</li> </ul>	

指標	内容	目標	H29実績
	公立小中学校の不登校児童・生徒数(千人率)小学校	総計 H32 2.0以下	5.1
	公立小中学校の不登校児童・生徒数(千人率)中学校	総計 H32 25.0以下	38.8
	独自		
人権行政の視点		長欠・不登校児童生徒へのはたらきかけは、一人ひとりの学習権の保障につながる	個別の対応を行うことにより、学習支援につなげることができた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>長欠・不登校の原因は多岐にわたり、学校だけでの対応は難しくなっている中、支援の必要性が高まっている</p> <p>結果</p> <p>専門家や関係諸機関との連携、支援人材の有効活用</p>	<p>心理や福祉の専門家、関係諸機関とも連携しながら、より効果的な支援を進める</p> <p>児童生徒へ個々の状況に応じた対応をすることにより、改善するケースが見られた</p>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	特別支援教育充実事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	7,072,030	臨時職員給	345,960
	国補助		報償金	6,655,000
	府補助		消耗品費	9,720
	市債		その他保険料	61,350
	その他			
合計	7,072,030			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	発達の課題から支援の必要な子どもへの適切な支援の充実をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育推進委員会を開催</li> <li>・特別支援教育コーディネーター研修を開催</li> </ul>
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・小中学校での巡回発達相談の実施</li> <li>・小中学校への支援員の派遣</li> <li>・音楽療法の実施</li> <li>・通級指導教室の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育推進委員会を開催(6・3月)</li> <li>・特別支援教育コーディネーター研修を年4回開催(6・7・8・12月)</li> <li>・音楽療法の実施(年8回)</li> <li>・通級指導教室担当者会の実施(年10回)</li> </ul>	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	巡回相談、発達相談の申込みへの対応率	独自	H29	100%	96.7%
人権行政の視点		発達に課題のある児童・生徒への相談活動の充実を通し自立支援を図り、インクルーシブ教育の推進を図る		相談活動の充実に努め、インクルーシブ教育の推進に貢献できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	支援教育の充実	障がいの有無に関わらず、「ともに学び、ともに育つ」ため、多様な学びの場における教育環境及び支援体制の充実を図るため	
結果	支援教育に対する意識の向上と指導・支援の内容の充実	基礎的環境整備や合理的配慮について、教職員の理解を深め、実際の指導・支援につながった		

平成29年度【未来づくり委員会 B】

事業名	学力向上推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	9,463,727	報償金	1,329,000
国補助	831,000	消耗品費	215,687	
府補助		その他保険料	8,160	
市債		事務業務委託料	11,429,600	
その他	3,304,000	使用料及び賃借料	616,280	
合計	13,598,727			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
		平成19年度からの全国学力・学習状況調査結果の着実な結果向上に対して、一層の上昇を図る
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上ゼミ開催(年間40回)</li> <li>・大東まなび舎開催(中学校8校)</li> <li>・大東ステップアップ学習の全校実施</li> <li>・市共通到達度確認テストの全校実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上ゼミ開催(年間40回土曜日)</li> <li>・大東まなび舎開催(中学校8校・放課後及び土曜日)</li> <li>・大東ステップアップ学習の全校実施(4~3月)</li> <li>・市共通到達度確認テストの全校実施(4月)</li> </ul>

指標	内容	目標	H29実績
	全国学力・学習状況調査の標準化得点(全国を100とした数値)	総計 H32	100以上
		KPI H32	
		独自	
	人権行政の視点	総合的教育力の向上及び学習機会の拡充は、学習意欲の喚起及び「生きる力」の基礎に寄与している	学習意欲を喚起し、「生きる力」の基礎となる学力の向上に寄与できた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	大東市教育大綱における重点大綱1の達成
結果	大綱1に掲げる取組については着実に達成	学習機会の拡充及び自学自習力向上は達成、基礎的・基本的学力の定着は継続課題

平成29年度【未来づくり委員会B】

事業名	家庭教育支援事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	4,392,672	非常勤職員報酬	3,492,000
国補助	5,563,000	報償金	6,864,000	
府補助	1,232,000	費用弁償	42,280	
市債		普通旅費	17,500	
その他		消耗品費	212,283	
		食糧費	41,909	
		印刷製本費	71,700	
		その他保険料	18,000	
		事務業務委託料	297,400	
合計	11,187,672	使用料及び賃借料	130,600	

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
		家庭教育支援チーム、相談・訪問チームを設置。家庭訪問、保護者へ家庭教育に関する情報・学びの場の提供、家庭教育支援の活動を実施する
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	①地域協議会、基幹会議等の開催 ②相談・訪問チーム員への研修・養成講座 ③「いくカフェ」の企画・開催 ④家庭訪問の実施 ⑤全体講演会の開催	①地域協議会、基幹会議等の開催(4・8・10・11・2月) ②サポーター(チーム員)養成講座の開催(5・8・9・1・2月) ③全小学校区での「いくカフェ」の開催(全小学校 1・2 学期各1回:計24回) ④小学1年生全家庭訪問を2回実施(1学期(6~8月、2学期(9~12月)訪問) ⑤全体講演会の開催(2月)

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	児童保護者と関わる(相談・訪問)件数	独自	H29	2,000件	1,816件
	人権行政の視点	保護者が安心して子育てや家庭教育を行えるように支援することで子どもたちの健全な育成を推進する			保護者が安心して子育てや家庭教育を行えるように支援することで、子どもたちの健全な育成の推進に寄与することができた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	①教育環境の充実 ②家庭教育力の向上	①全小学校区「いくカフェ」開催 ②小学1年生全家庭訪問の実施 ③サポーター(チーム員)養成	
結果	①家庭・学校・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、調和のとれた教育の実現を図り、子どもが健やかに成長するために必要な教育環境の充実を図った ②保護者の地域での孤立化を防ぎ、社会全体で家庭教育力の向上を促進した	①全小学校区で「いくカフェ」を開催し、保護者同士のつながりづくりができた(参加者 保護者:150名、子ども:431名、チーム員:107名) ②小学校1年生全家庭訪問の95%の保護者と会うことができ、地域住民とのつながりづくりができた ③サポーター(チーム員)養成講座開催により107名(47名増員)に増加した		

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	教育研究推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	2,765,539	報償金	2,169,000
国補助		消耗品費	288,359	
府補助		手数料(費用)	93,960	
市債		使用料及び賃借料	203,750	
その他		教材購入費	10,470	
合計	2,765,539			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
		「大東市教育ビジョン後期基本計画」に基づく、全市的な授業改善・授業研究の推進、及び学校教育活動の充実
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者、10年経験者研修の開催</li> <li>・全校による授業改善研究会の開催</li> <li>・市教育研究フォーラムの開催</li> <li>・教育委員会だより「えがお大東っ子」発行</li> <li>・教育資料収集及び授業づくり冊子の発行</li> <li>・道徳教科化に向けた道徳充実研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者、10年経験者研修の開催(5～9月)</li> <li>・全校による授業改善研究会の開催(5～2月)</li> <li>・市教育研究フォーラムの開催(8月)</li> <li>・「えがお大東っ子」発行(年間5号)</li> <li>・授業づくり冊子発行(11月)</li> <li>・道徳充実研修及び校区ごと道徳充実推進(年2回)</li> </ul>

指標	内容	目標		H29実績
			総計	H32
		KPI	H32	
	授業改善を伴う校内研修を実施 全校(小学校12校・中学校8校)	独自	H30 6回(小10・中5)	6回(小11・中4)
	人権行政の視点	全校教職員が研究成果と課題を共有することで、児童生徒の豊かな教育活動に資する		教育研究の推進・共有・実践により、個々の豊かな教育活動に資することができた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	大東市教育ビジョン後期基本計画の着実な実施
結果	児童生徒の実感の伴った授業改善が実践された	質問紙結果からも、児童生徒の実感の伴った授業改善が実践されたが「深い学び」の追求は継続課題

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	学校支援事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	12,898,120	非常勤職員報酬	3,334,920
	国補助		報償金	9,204,800
	府補助		その他保険料	358,400
	市債			
	その他			
合計	12,898,120			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	各小中学校において、地域等の外部人材の計画的な支援により、学校の教育力の活性化を図る	全体に同じ
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
各校からの申請及び活用計画に基づき、授業・クラブ・部活動、授業力向上や管理職への総合的な支援に、支援人材を派遣する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校へ実施要項を通知(4月)</li> <li>・各校で支援員の活用(5月～3月)</li> <li>・実施状況の中間確認(10月)</li> <li>・実施報告(3月)</li> </ul>	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	全国学力・学習状況調査において「地域の人材を外部講師として招聘した授業」の実施について肯定的回答の割合	独自 H29	小学校 80% 中学校 60%
人権行政の視点	外部からの指導・支援を得ることで、地域と連携した教育の推進を図る		中学校において、地域と連携した教育の推進を図ることができた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力や学校力の総合的向上</li> <li>・学校教育の活性化</li> </ul> <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力や学校力の総合的な向上につながった</li> <li>・学校教育が活性化した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の教育課題と教育ニーズに応える</li> </ul> <p>・中学校において、各校の教育課題と教育ニーズに応えた人材の活用ができた。小学校においては、外部人材活用について計画の改善が望まれる</p>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	言語活動推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	4,842,068	臨時職員給	4,571,420
国補助		報償金	50,000	
府補助		消耗品費	75,738	
市債		手数料(費用)	77,760	
その他	4,000	使用料及び賃借料	71,150	
合計	4,846,068			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	言語環境の一層の充実を図り、「確かな学力」と「言語力の育成」を図るため、小中学校弁論大会開催と学校図書館司書を配置	弁論大会開催と学校図書館司書の配置
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
大東市小中学生弁論大会開催 読書活動の推進と充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館教育担当者研修会の実施(6月)</li> <li>・弁論大会開催(11月)</li> <li>・学校図書館教育担当者研修会の実施(1月)</li> </ul>	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
	全児童生徒数に対する応募者数の割合	独自 H29 100%	80%
	全国学力・学習状況調査において「読書は好き」という肯定的な回答の割合	独自 H30 80%以上	小学校 72.9% 中学校 66.8%
人権行政の視点	大東市小中学生弁論大会の取組を通して、友人や家族、地域社会など他者とのつながりを考える	児童生徒だけでなく、市民にとっても関心の高いイベントとして定着しつつある	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 学力向上の強化  結果 言語力の育成を図ることができた	読書習慣の定着、言語力の向上を図る  学校司書を配置したことにより、学校図書館の環境整備が進み、貸出冊数が増加した

平成29年度【未来づくり委員会 B】

事業名	学力強化プロジェクト事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	3,071,733	非常勤職員報酬	2,939,000
	国補助		消耗品費	69,053
	府補助		印刷製本費	50,000
	市債		使用料及び賃借料	13,680
	その他			
合計	3,071,733			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	小・中学校における学力強化を図るため、教育専門家・校長OB等を中心としたプロジェクトチームを編成し、集中的な実践を行う	プロジェクトチーム学校訪問指導、学力向上定期講座、授業力向上会議の開催
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチーム学校訪問指導実施</li> <li>学力向上定期講座(年間8回)実施</li> <li>授業力向上会議(年間8回)実施</li> <li>推進会議、基幹会議開催(年間5回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチーム学校訪問指導実施(年間196回)</li> <li>学力向上定期講座(5/6/8/9/10/11/12/1月)実施</li> <li>授業力向上会議(6/7/8/9/10/11/12/1月)実施</li> <li>推進会議、基幹会議(4/6/10/1/2月)実施</li> </ul>	

指標	内容			目標	H29実績
	全国学力・学習状況調査の標準化得点(全国を100とした数値)	総計	H32	100以上	98
		KPI	H32		
		独自			
	人権行政の視点	学校力及び授業力向上に係る支援により、児童生徒の学習意欲を喚起し「生きる力」の基礎に寄与する		学習意欲を喚起し、「生きる力」の基礎となる学力の向上に寄与した	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	大東市教育大綱における重点大綱1の達成
結果	大綱1に掲げる取組については着実に達成	教員の授業力及び児童・生徒の学力向上は一定達成できたが、調査結果の向上については指標を達成できず

平成29年度【未来づくり委員会 B】

事業名	小中一貫教育モデル校プロジェクト事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	4,865,712	非常勤職員報酬	4,695,200
	国補助		消耗品費	170,512
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	4,865,712			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	小中一貫教育に関するモデル校区(北条中学校区)における実践、研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進コーディネーターの配置</li> <li>・推進会議、合同研修会の実施</li> </ul>
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区として「めざす子ども像」の作成</li> <li>・校区として9年間を系統立てたカリキュラムの作成</li> <li>・公開研究発表会の実施による情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセスプラン(小学6年生による中学校登校等)の実施</li> <li>・小学校高学年における教科担任制の推進</li> </ul>	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		総計 H32	
	小6から中1にかけた不登校増加率	独自 H32 2.0倍以下	1.75倍
人権行政の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間の系統立てた人権教育カリキュラムの作成</li> <li>・小中一貫した郷土教育の推進</li> </ul>	コーディネーターが中心となり、9年間の系統立てた人権教育カリキュラムを作成できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 小中一貫教育における成果と課題の抽出  結果 成果と課題が明確となった	大東市にとって特色ある、最適な小中一貫教育の在り方を構築するため  小中学校の職員間で互いの良さを取り入れる意識や協力して指導にあたる意識が高まった

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	総合的教育力活性化事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	中学校費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育指導費
		総計	2-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	1,626,940	報償金	400,320
	国補助		費用弁償	12,620
	府補助	286,000	事務業務委託料	1,500,000
	市債			
	その他			
合計	1,912,940			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域の連携強化</li> <li>・地域教育の活性化</li> <li>・教育コミュニティづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校区地域教育協議会(すこやかネット)の活動支援</li> <li>・学校支援コーディネーターの活動支援</li> </ul>
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育活動に関する事業</li> <li>・学校支援活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域教育協議会事務局会議の開催(毎月)</li> <li>・学校支援コーディネーター研修会の実施(年3回)</li> <li>・総合的教育力活性化事業全体会の開催(5月・3月)</li> </ul>

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	地域教育協議会主催行事への参加人数(延べ)	独自	H32	16,000人以上	16,650人
	人権行政の視点	学校及び地域コミュニティの活性化を図り、世代を超えた豊かな人間関係の構築を推進する		各地域教育協議会がそれぞれの特色を出した活動を通じて豊かな人間関係の構築ができた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区単位での市民会議との連動</li> </ul> <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校区内における住民の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域の連携強化と、地域教育力のさらなる向上のため</li> </ul> <p>各地域教育協議会の活動により学校、家庭、地域の連携が強化された</p>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	進路選択支援事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	人権教育費
		総計	2-2-2

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	2,717,430		事務業務委託料	4,371,430
	国補助				
	府補助	1,654,000			
	市債				
	その他				
合計	4,371,430				

内容	全体の事業計画		H29年度の事業計画	
	家庭事情や経済的な理由による進学断念や中退を防ぐため、奨学金の活用などの相談、学習機会の情報提供などを行う		相談箇所を2箇所設置し、相談事業を実施する	
	全体のスケジュール		H29年度のスケジュール	
	特定非営利活動法人ほうじょう、特定非営利活動法人大東野崎人権協会へ委託 ・面談、電話、出張相談等対応 ・相談事業によりケース検討会議アウトリーチ等を実施		市民相談窓口 野崎人権文化センター 原則開館日 北条人権文化センター 原則土曜日を除く開館日	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
		独自			
	人権行政の視点	本事業は家庭事情や経済的な理由等で進路選択の幅が制限されることのないように支援している			個々の課題に対し、適切な専門機関と連携し支援を行った

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	住民の自立支援および福祉の向上を図る	住民の進路選択における相談を受け、課題解決のための支援を図る
	結果	広く市民から相談を受け付け、各種専門機関と連携を取り、対応した	在籍校での進学についての相談、学び直しの進路選択についての相談、治療しながらの進学についての相談等、個々の課題解決に向けた支援を行った

平成29年度【未来づくり委員会 B】

事業名	青少年健全育成事業(野崎)	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費
		総計	2-1-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	938,881	報償金	750,800
国補助		普通旅費	6,780	
府補助		消耗品費	37,218	
市債		印刷製本費	87,000	
その他	440,560	事務業務委託料	344,113	
合計	1,379,441	使用料及び賃借料	153,530	

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	青少年の健全育成、人権教育の推進等を目的とした事業展開	学習、文化、スポーツおよび人権教育等各種事業の実施
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間 学力向上ゼミ、書道教室、自然・社会見学会、有償ボランティア事業、工作教室、料理教室、地域交流活動、お祭り・イベント、機関誌発行、人権啓発活動</li> <li>夏期 ふしぎ発見教室、キッズ・あーと、クラフト・手芸教室、自然観察会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間 各種事業企画案作成、講師選定、会場設定、材料購入等準備、調整作業 事業実施 事業終了後の検証</li> </ul>

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	事業への参加率	独自	H29	90%	83%
	人権行政の視点	児童デイサービスや教室事業を通じて、他人との協力、思いやりの心や規範意識を育む		個々の差はあるものの着実に育てている	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	青少年の健全育成及び人権意識の高揚を図る		従来の事業内容の見直し及び新規事業の展開
結果	機関紙「であい」やイベント等を通じて、様々な健全育成等に資する啓発活動が推進できた		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で野外活動センターを活用した体験型学習の開始</li> <li>昼休館時間の新たな活用方法として、お弁当を食べられるようにした</li> </ul>	



平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	学校通学路整備事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	3,761,257		事務業務委託料	3,761,257
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	3,761,257			

内容	全体の事業計画		H29年度の事業計画	
	新通学路の交通誘導及び大東市内全小学校の通学路の点検を実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四条北小学校新通学路の登下校時の交通誘導を実施</li> <li>・通学路の点検業務を実施</li> </ul>	
	全体のスケジュール		H29年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新通学路の交通誘導を実施</li> <li>・通学路の点検業務を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四条北小学校新通学路の登下校時の交通誘導を実施(4月～3月)</li> <li>・通学路の点検業務を実施(2月)</li> </ul>	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	新たに指定された通学路の整備進捗率	独自	H32	100%を維持	100%
	人権行政の視点	通学路を整備することにより、通学時の児童の安全を確保する			通学路を整備することにより、通学時の児童の安全に努めた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>学校の安全対策の強化</p> <p>結果</p> <p>通学路の安全性確保</p>	<p>学校通学路について安全性向上に必要な対策を講じる</p> <p>通学路の安全性を確保するため、安全点検を実施し、通学路の見直しを図れた</p>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	小学校非構造部材耐震化事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	小学校費
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	小学校改修事業費
		総計	2-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	4,955,520	【繰越明許】 工事監理委託料 新設改良工事請負費(国)	2,904,120
	国補助	28,217,000		188,168,400
	府補助			
	市債	157,900,000		
	その他			
合計	191,072,520			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	児童生徒の安全・安心な学校環境の整備及び改善を推進するため、非構造部材の耐震化を実施する	・灰塚小学校、三箇小学校の屋内運動場の老朽改修工事を実施
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
非構造部材の耐震化および老朽化対策を計画的に実施	・灰塚小学校屋内運動場老朽改修工事の実施(10月～3月) ・三箇小学校屋内運動場老朽改修工事の実施(10月～3月) ※上記 2校の屋内運動場非構造部材耐震化工事は平成28年度に実施済み	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	体育館非構造部材耐震化進捗率	独自	H28	100%	100%
	人権行政の視点	体育館の非構造部材耐震化を実施することにより、学校生活における児童の安全を確保する		体育館の非構造部材耐震化を実施することにより、学校生活における児童の安全を確保できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	安全・安心な学校環境の整備及び改善		学校の学校環境向上に必要な対策を講じる
結果	安全・安心な学校環境の整備及び改善が図れた		学校環境の整備及び改善の計画的な実施が図れた	

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	中学校非構造部材耐震化事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	中学校費
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	中学校改修事業費
		総計	2-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	12,135,160	【繰越明許】 工事監理委託料 新設改良工事請負費(国)	3,400,920 245,136,240
	国補助	30,202,000		
	府補助			
	市債	206,200,000		
	その他			
合計	248,537,160			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	児童生徒の安全・安心な学校環境の整備及び改善を推進するため、非構造部材の耐震化を実施する	・諸福中学校、大東中学校の屋内運動場の老朽改修工事を実施
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
非構造部材の耐震化および老朽化対策を計画的に実施	・諸福中学校屋内運動場老朽改修工事の実施(10月～3月) ・大東中学校屋内運動場老朽改修工事の実施(10月～3月) ※上記2校の屋内運動場非構造部材耐震化工事は平成28年度に実施済み	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	体育館非構造部材耐震化進捗率	独自 H28 100%	100%
人権行政の視点	体育館の非構造部材耐震化を実施することにより、学校生活における児童の安全を確保する	体育館の非構造部材耐震化を実施することにより、学校生活における生徒の安全を確保できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	安全・安心な学校環境の整備及び改善
結果	安全・安心な学校環境の整備及び改善が図れた	学校環境の整備及び改善の計画的な実施が図れた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	放課後子ども教室推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	社会教育総務費
		総計	2-1-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	439,707	報償金 消耗品費	1,164,240
	国補助			151,467
	府補助	876,000		
	市債			
	その他			
合計	1,315,707			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	全小学校の放課後や土曜日に小学校の余裕教室を活用し、地域住民の参画を得ながら子どもの安心安全な居場所づくりを実施	市内 12 小学校で学校に関わる地域の実情に応じて、将棋教室・伝承遊び・学習教室等を実施。放課後児童クラブと連携して進める
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
4月：各小学校へ実施内容の意向調査実施。安全管理員、コーディネーター、実施内容が決定次第、各小学校で実施。毎月末に学校長より、活動報告 2月：運営委員会実施(次年度計画)	市内 12 小学校で各校年 51 回以上実施(将棋教室、読み聞かせ、英語教室、学習教室等)	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	教室開催日数回数	独自	H29	750回	836回
人権行政の視点	子どもの人権が尊重され、安全・安心な場所で感性豊かに健やかに成長できる環境づくりを図る			地域住民の参画を得ながら安心・安全な居場所づくりの推進に寄与できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	市内 12 小学校での事業の充実を図り、放課後児童クラブとの連携を図る
結果	学習教室の講師の共有など、放課後児童クラブと連携の強化ができた	学校・放課後児童クラブとの連携を深め、地域住民参画の事業を行うことができた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	子どもの安全見守り事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	青少年対策費
		総計	2-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	913,107	消耗品費	883,107
	国補助		食糧費	30,000
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	913,107			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	子どもたちの登下校時に通学路を中心に、保護者・地域住民・学校が見守り活動を行うことで、不審者等から子どもたちを守る	見守り活動に必要な腕章、ベスト、横断旗などの物品の支給を行う。また、四條畷警察署職員を講師に招いて見守り活動の研修を随時実施する
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
見守り隊の参加人数の意向調査 見守り活動に必要な物品の意向調査 各小学校へ物品の支給 見守り隊への研修実施	見守り活動の視察 見守り活動に必要な物品の支給 見守り隊への研修実施 見守り隊への感謝状の贈呈	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	見守り活動への参加人数	独自	H29	4,200人	4,296人
人権行政の視点	青少年の健全育成のために、日常の声掛けなどを通し、豊かな心を育て、平和なまちづくりを目指す			見守り隊活動の充実で登下校の児童の安全に寄与できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	地域住民の参画により、地域全体の安全な環境づくりに効果がある
結果	児童の登下校時に地域住民の見守り活動で児童の安全や地域の安全な環境が確保できた	研修や物品の購入等の実施で、充実した見守り活動が実施できた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	文化財保護整備事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	文化財保護費
		総計	4-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	2,422,641	報償金	20,000
	国補助		印刷製本費	372,600
	府補助		事務業務委託料	2,030,041
	市債			
	その他			
合計	2,422,641			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	多様な方法で地域文化資源の保存と活用を図り、文化財行政を推進していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>市史まんが古代編の刊行</li> <li>平野屋新田会所跡地保存と活用の推進</li> <li>北新町遺跡発掘調査報告書の刊行</li> </ul>
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<b>【市史まんが】</b> ・古代編刊行(H29) ・中世編シナリオ・ネーム作成(H30～31) ・中世編刊行(H31) <b>【平野屋新田会所】</b> ・整備活用案(H29)・整備計画(H30) <b>【北新町遺跡発掘調査報告書】</b> ・刊行(H29)	<b>【市史まんが】</b> ・委託発注(4月) ・刊行(3月) <b>【平野屋新田会所】</b> ・平野屋新田会所サポーター活動支援(年間) ・整備活用案作成に係る調整(年間) <b>【北新町遺跡発掘調査報告書】</b> ・刊行(3月)

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	市史まんが化の進捗率	独自 H33 100%	60%
人権行政の視点	まちの歴史を知ることによって愛着が生まれ、よりよいまちづくりに参画する意思の向上促進に寄与する	住民の歴史遺産を活かしたまちづくりへの参画に寄与できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 本市の歴史を知ることによって、市民に愛着と誇りをもってもらうことで、定住化を促進する  結果 市史まんがを周知することで、今後市民の愛着の向上が期待される	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく  市史まんがや発掘調査報告書の刊行により、市民に本市文化財を理解いただくための資料を提供した

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	飯盛城跡保存整備活用事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	文化財保護費
		総計	4-2-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	3,886,047	臨時職員給	1,370,980
国補助	3,359,000	報償金	43,500	
府補助		費用弁償	9,820	
市債		普通旅費	15,480	
その他	50,000	消耗品費	164,648	
合計	7,295,047	印刷製本費	110,429	
		通信運搬費(費用)	1,590	
		事務業務委託料	5,562,400	
		その他負担金	16,200	

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	飯盛城跡の国史跡指定と指定後の保存と活用、整備を行い、本市の歴史的シンボルや観光資源として活用を図る	
内容	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認調査・文献史料調査・航空測量調査(H28~30)</li> <li>・報告書作成・史跡指定申請(H31~32)</li> <li>・史跡指定(H33)</li> <li>・保存管理計画・公有化・整備(H33以降)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣・遺構の確認調査(1月~2月)</li> <li>・専門委員会の開催(7月)</li> <li>・シンポジウムの開催(11月)</li> <li>・古民家調査(年間)</li> <li>・地権者等への説明(年間)</li> </ul>

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	飯盛城跡の国史跡指定	独自	H33	100%	30%
人権行政の視点	まちの文化・歴史に触れ、愛着を持つことで、支え合うまちづくりに参画する意思の向上促進に寄与する			住民の歴史遺産を活かしたまちづくりへの参画に寄与できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>調査研究の成果を広報・周知し、国史跡指定に向けた機運を高めることができた</p>	<p>国史跡指定と整備に向け、学術的な調査を進め、成果を広く周知することで、市民の愛着を高め、定住促進に繋げる</p>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	市民文化自主事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	総合文化センター費
		総計	4-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	7,273,532	その他団体補助金	7,273,532
	国補助			
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	7,273,532			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	市が主催する自主事業として、優れた舞台芸術を市民にとって最も身近な公共ホールであるサーティホールで開催する	市民団体の代表からなる実行委員会で、事業内容や事業計画について検討し、事業を実施する
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
年間4～5回の公演を開催する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西フィルハーモニー管弦楽団コンサート(市立中学校4校の吹奏楽部との合同演奏を実施 6月25日)</li> <li>・0歳から楽しむファミリーコンサート(10月15日)</li> <li>・ワインコンサート(12月2日)</li> <li>・わらび座:ミュージカル「ブッダ」公演(1月28日)</li> </ul>	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	公演入場者数	独自 H29 3,500人	1,768人
人権行政の視点	文化芸術を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する	文化芸術を通じて学びと交流を促進し、相互理解に寄与できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>多様な文化に触れる機会を提供し、文化芸術を通じて学びと交流を深める</p> <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の文化芸術への関心の向上</li> <li>・文化芸術のまちづくりの推進</li> </ul>	<p>優れた舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供する</p> <p>各年齢層をターゲットとした多彩な事業を催し、市民に本格的な舞台芸術に接していただくことができた</p>

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	市民文化振興事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	総合文化センター費
		総計	4-2-2

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	3,302,000		事務業務委託料	3,302,000
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	3,302,000			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	市民が広く参加する大東市民文化祭を総合文化センターで行う。舞台の部、展示の部、子ども会関係の展示がある	・舞台：舞踊、詩吟、謡曲、ダンス、コーラス他 ・展示：書、絵画、生花、写真、俳句、手工芸、子ども会フェスティバルのポスター他
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	第62回大東市民文化祭 開催日：11月2日(木)～5日(日) 会場：総合文化センター	・6月広報で出展、出演募集 ・参加団体からなる市民文化祭実行委員会開催(7月、10月) ・反省会(第3回実行委員会)の開催(12月)

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	参加者数	独自	H29	48,000人	46,088人
	人権行政の視点	文化芸術を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する		文化芸術を通じて学びと交流を促進し、相互理解に寄与できた	

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	・市民の生涯学習の推進 ・文化芸術の振興	日頃生涯学習活動を行っている人たちの成果発表の場や団体交流の場を提供する
	結果	・生涯学習活動者の意欲向上 ・文化芸術のまちづくりの推進	市民の日頃の文化・芸術活動を発表する場として大勢の参加があり、交流が促進された

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	市民体育大会委託事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	1,931,849	賞賜金	64,389
	国補助		事務業務委託料	1,867,460
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	1,931,849			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	市民の健康増進とスポーツの普及・発展のため、体育協会に委託のもと、17競技の大会および総合開会式を開催	春の部 11種目と秋の部 8種目の競技大会を市民体育館等で開催
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
	【競技種目】17競技 卓球、バスケットボール(春・秋)、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、相撲、バドミントン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、カローリング、バレーボール、空手道、剣道、柔道、山岳、テニス、ゲートボール	・「春の部」募集(4月) ・総合開会式(5月) ・「春の部」開催(5月～7月) ・「秋の部」募集(9月) ・「秋の部」開催(10月～12月)

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	参加者数	独自 H29 5,000人	5,107人
人権行政の視点	スポーツを振興することで、健康維持および地域コミュニティの形成を目指す	スポーツを通して地域コミュニティの形成につながることができた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 ・市民スポーツの振興 ・市民の健康増進と生涯スポーツの推進  結果 ・スポーツ競技に対する参加意識の醸成 ・スポーツ人口の拡大	競技団体に加盟していない市民を取り込み、スポーツ人口の拡大および競技力の向上を図る  市民が各競技大会に参加することにより、各競技スポーツ人口の拡大および競技力向上につながった

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	スポーツ団体育成事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	1,512,000	事務業務委託料	1,512,000
	国補助			
	府補助			
	市債			
	その他			
合計	1,512,000			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	体育協会加盟の17団体が年間を通じて、団体毎に「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等を開催	「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等から選択して開催
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
・教室および講習会等のスポーツ事業、スポーツ団体育成事業および指導者養成事業(4月～3月)	・各競技連盟開催内容検討(4月) ・「スポーツデー」開催(4月～3月) ・実績報告書提出(終了後)	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	参加者数	独自 H29 3,000人	2,430人
人権行政の視点	スポーツを通じた市民交流の中で、市民が市民を認め、お互いを尊重できる意識の向上を図る	スポーツを通して地域コミュニティ形成につなげることができた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	・市民スポーツの振興 ・各競技連盟の育成
結果	・スポーツ人口の拡大、人材育成 ・地域における市民交流	市民が気軽に参加できるスポーツ教室等を実施することでスポーツ活動に参加する機会を提供することができた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	大東市ニュースポーツフェスティバル事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	263,000	事務業務委託料	470,000
	国補助	138,000		
	府補助	69,000		
	市債			
	その他			
合計	470,000			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	障害者(児)スポーツのデモンストレーション、ニュースポーツ体験の2部構成で開催	障害者(児)スポーツのデモンストレーションの選定と開催、ニュースポーツの体験を開催
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<b>【事業開催日】</b> 日時:平成30年3月10日(土) 13:00~16:00 場所:大東市立市民体育館	・デモンストレーションの選定(8月) ・事業の開催(3月) ・実績報告書提出(終了後)	

指標	内容	目標	H29実績
		総計 H32	
		KPI H32	
	参加者数	独自 H29 150人	117人
人権行政の視点	障害者と健常者が共にスポーツを楽しむ機会を提供することで、互いの人権への意識を向上していく	障害者(児)の社会参加と生涯スポーツの推進を目指し、共にスポーツを楽しむ中で互いの人権への意識を向上する	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 ・障害者(児)スポーツの普及 ・生涯スポーツの推進 結果 ・障害者(児)スポーツに対する参加意識の醸成 ・生涯スポーツの拡充	体力に応じて楽しめるニュースポーツの紹介および障害者(児)の社会参加と交流する機会の提供とノーマライゼーションへの理解を図る だれもがニュースポーツに参加できる機会の充実、障害者(児)スポーツの推進を図ることができた。また、障害者(児)に対する理解を深めることができた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	市民マラソン大会事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	598,901	報償金	80,000
	国補助		賞賜金	27,090
	府補助		消耗品費	9,996
	市債		事務業務委託料	662,655
	その他	192,300	使用料及び賃借料	11,460
合計	791,201			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	小学生から高齢者まであらゆる年代の市民が参加できるよう年齢・距離別に15種目の競技大会を実施する	・第43回大東市民マラソン大会を開催
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
<b>【事業開催日】</b> 日時:平成29年11月19日(日) 9:30~11:00 場所:大阪府営深北緑地 雨天予備日:平成29年12月3日(日) 場所:大阪府営深北緑地	・深北緑地使用許可申請書提出(6月) ・委託業者契約締結(8月) ・広報活動開始(9月) ・参加者募集(10月) ・大会開催(11月) ・委託業者変更契約締結(11月)	

指標	内容	目標		H29実績
		総計	H32	
		KPI	H32	
	参加者数	独自	H29	750人
	人権行政の視点	地域の方とふれあうことの大切さを知り、スポーツを通じてお互いの人権を尊重しあう気持ちを育む		あらゆる年代の人が参加することでお互いを理解し、尊重し合う機会を提供することができた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 競技力の向上と市民の健康保持・増進を目指す 結果 ・市民の健康保持・増進の確保 ・スポーツ人口の拡大	幅広い年齢層の市民が気軽に参加することができるよう事業の推進を図る 幅広い年齢層の市民が個々の体力に応じて気軽にスポーツに参加することができ、体力の向上や健康の保持増進に寄与することができた

平成29年度 【未来づくり委員会 B】

事業名	体育施設総合整備事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	体育施設費
		総計	2-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	24,320	手数料(費用)	24,000
国補助		工事監理委託料	563,760	
府補助		新設改良工事請負費(単)	99,178,560	
市債	59,000,000			
その他	40,742,000			
合計	99,766,320			

内容	全体の事業計画	H29年度の事業計画
	テニスコートの利用増によるコートの増設、照明灯改修・フェンス設置等による大東公園の防災機能充実と利用者の安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立テニスコート管理棟新設工事</li> <li>・市立テニスコート管理棟新設 電気設備工事</li> <li>・市立テニスコート増設工事</li> </ul>
	全体のスケジュール	H29年度のスケジュール
管理棟新設工事(H29) 管理棟新設 電気設備工事(H29) テニスコート増設工事(H29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟新設工事(7月～9月)</li> <li>・管理棟新設工事電気設備工事(7月～9月)</li> <li>・テニスコート増設工事(10月～3月)</li> </ul>	

指標	内容			目標	H29実績
		総計	H32		
		KPI	H32		
	テニスコートの整備	独自	H30	100%	100%
人権行政の視点	スポーツ振興することで、健康維持と地域コミュニティを形成する。防災拠点として市民の生命を守る			市民にとって快適なスポーツ環境を創出することができた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 ・市民の健康保持・増進と競技力向上 ・利用者の安全性確保と防災機能の充実 結果 ・テニスの競技力向上、テニス競技人口の拡大 ・利用環境の整備	・テニスコート利用者の増加に対応するとともに安全かつ快適に施設利用できるように整備する ・地域の防災としての機能をもたせる ・テニスの振興を担う施設として、スポーツ環境の充実を図ることができた